

(3) 大学院学校教育研究科

③-2 学校実習

ア 学校実習委員会設置の趣旨（目的）及び組織

i) 組織設置の趣旨（目的）

学校実習委員会は、大学院の学校実習（学校支援プロジェクト及び課題研究プロジェクト）に関する事項について調査検討することを目的として設置されている。

ii) 組織の構成及び構成員等

学校実習委員会は、①学長が指名した副学長、②平成31年度に設置予定の大学院の各コース・領域で担当する教授又は准教授（講師及び助教を含む。）の中から学長が指名した者、③学校教育実践研究センター長、④附属学校副校長（副園長を含む。）、⑤教育支援課学校実習推進室長、⑥その他学長が指名した者の計31人で構成されている。

また、学校実習の責任体制を明確にするるとともに効率的な運営を図るため、学校実習委員会に以下の部会を設置した。

・ 学校支援プロジェクト専門部会

①教科教育・学級経営実践コース、先端教科・領域開発研究コース、学校臨床・授業研究コース及び現代教育課題研究コースから選出の学校実習委員会委員、②学校教育実践研究センター長及び特任教員：実習支援コーディネーター、③その他学長が指名した者若干人の計13人で構成

・ 課題研究プロジェクト専門部会

①発達支援教育コース（幼年教育、学校ヘルスケア）及び学校教育深化コースから選出の学校実習委員会委員、②特任教員：実習支援コーディネーター、③その他学長が指名した者若干人の計15人で構成

・ 課題研究プロジェクト公認心理士実習専門部会

①心理臨床コースから選出の学校実習委員会委員、②その他委員長が指名した者若干人の計9人で構成

・ 課題研究プロジェクト発達支援実習専門部会

①発達支援教育コース（特別支援教育）から選出の学校実習委員会委員、②その他委員長が指名した者若干人の計11人で構成

・ 外国人留学生学校実習専門部会

①学校実習委員会から選出の委員、②国際交流推進センター長、③その他委員長が指名した者若干人の計4人で構成

・ e-box 運用・構築専門部会

①学校実習委員会から選出の委員、②その他委員長が指名した者若干人の計4人で構成

イ 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

平成30年	5月21日（月）	第1回学校実習委員会
”	6月28日（月）	第2回学校実習委員会
”	7月31日（火）	第3回学校実習委員会

〃	9月11日（火）	第4回学校実習委員会
〃	10月16日（火）	第5回学校実習委員会
〃	11月13日（火）	第6回学校実習委員会
〃	12月14日（金）	第7回学校実習委員会
平成31年	1月15日（火）	第8回学校実習委員会
〃	2月12日（火）	第9回学校実習委員会
〃	3月14日（木）	第10回学校実習委員会

ii) 審議された主な事項

学校実習委員会及び専門部会における主な審議事項は、以下のとおりである。

- ・ 連携協力校とのマッチングの流れ
- ・ 学校支援フィールドワーク年間計画
- ・ 課題研究フィールドワーク年間計画
- ・ 学校実習・ボランティア支援室設置要項の制定
- ・ 学校実習の試行実施
- ・ 大学院学校実習の手引き
- ・ 外国人留学生の学校実習の取扱い
- ・ e-box の運用・構築

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

平成 31 年度から学校実習の規模が拡大されることから、学内教員に対し学校実習の概要や具体的な流れ等を理解してもらうため、7回の説明会を開催した。また、上越市及び近隣の3市の各教育委員会及び校長会に出向き、学校実習の概要について説明を行うことにより、学校現場への周知を図った。

ウ 優れた点及び今後の検討課題等

大学改革に伴い、大学院の学校実習は、多くの大学院生が学校現場に入ることから、円滑な実施及びその実質化を図るため、上越市、妙高市、糸魚川市、柏崎市の4市及び各市校長会が協働し7月2日に「学校実習コンソーシアム上越」を設立し、地域で支える体制を整備した。